

篠崎史紀「おんがくはまほう」

MAROさんが神石高原町にやってくる



© 井村重人

篠崎 史紀 Shinozaki Maro Fuminori (ヴァイオリン)

NHK交響楽団特別コンサートマスター。愛称"まろ"。3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その演奏は、「信頼性のあるテクニック、遊び心もある音楽性」「真珠を転がすような丸く鮮やかな音色、魅惑的な音楽性」と各メディア紙から称賛される。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。1988年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、97年N響のコンサートマスターに就任。以来“N響の顔”として国内外で活躍する。ヨーロッパ公演では、The Classical Sourceより「コンサートマスターの篠崎は言葉にならないくらい神がかった」「篠崎のカリスマ的な姿は、銀白の鎧をまとった戦士のようでもあり、全てを統括していた」と評される。

2004年より銀座・王子ホールでスタートした『MAROワールド』。このシリーズから弦楽合奏団「マロカンパニー」が結成された。これらの功績により、「2020年度第33回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」受賞。

その他、1979年史上最年少で北九州市民文化賞、2001年福岡県文化賞、2014年有馬賞受賞。

桐朋学園、昭和音大で後進の育成にも力を注いでいる。WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員。

使用楽器は1727年製ストラディバリウス(株)ミュージック・プラザより貸与。



野瀬 百合子 Nose Yuriko (ピアノ)

くらしき作陽大学モスクワ音楽院特別演奏コース卒業。倉敷管弦楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団と共演。第3回V.K.メルジャーノフ記念国際コンクール(ブルガリア)にて、ディプロマ、ラフマニノフの作品に対してエミール・ギレリス財団賞を受賞。

現在、スガナミ楽器ピアノ科講師。2017年度よりふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)登録アーティスト。小学校等のアウトリーチ活動(音楽鑑賞教室)も行っている。2017年より毎年、出身地である福山にてソロリサイタルを開催。元東京佼成ウインドオーケストラクラリネット奏者小倉清澄氏のリサイタル、YouTube(更新中)で共演、全国各地を回っている。ソロCD「クラリネット・パーティー」でも共演している。

ソロ演奏のほか、指導や地域の合唱団の伴奏、アンサンブルなどの活動を行っている。

やまなみ文化ホール会場詳細

さんわ総合センター やまなみ文化ホール

〒720-1410 広島県神石郡神石高原町高蓋472 TEL:0847-85-3097

Access 車

山陽自動車道「福山東IC」より、国道182号線を北へ約55分

中国自動車道「東城IC」より、国道182号線を南へ約40分



詳しくはこちら